持込修理

東芝CDラジオカセットレコーダー保証書

形名	TY-CDK3	
★お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年
★お買いあげ日		年　月　日から
★ご販売店	住所・店名 電話	

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社　AV・季節商品事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8 東芝万世橋ビル　電話（03）3257-6119

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。
また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
AV・季節商品事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）

TOSHIBA

東芝CDラジオカセットレコーダー

取扱説明書

形名

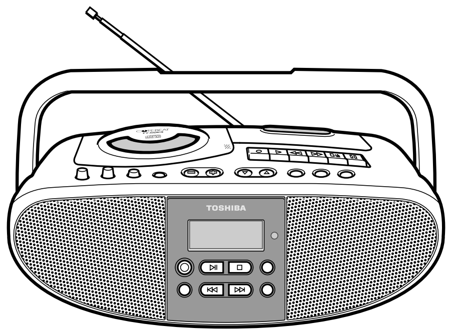
TY-CDK3

●このたびはCDラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している形名の（　）内の記号が色記号です。

保証書付

●保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。



COMPACT disc DIGITAL AUDIO

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

確実に差し込む

電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

プラグを抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

（警告つづき）

⚠警告

分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

プラグを抜く

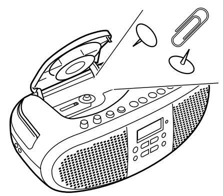
落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

入れない

異物を入れない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない
野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをたたんで安全な場所に避難する

感電の原因となります。

つぎのことを守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

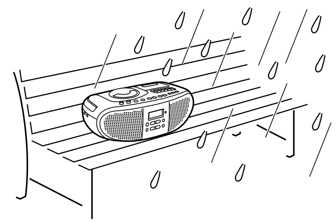
・傷つけない ・延長するなど加工しない
・加熱しない ・引っ張らない
・重い物を載せない ・はさんだりしない
・無理に曲げない ・ねじらない
・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



ほこりをとる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

（つづく）

⚠警告

次のような場所には置かない

禁止

- ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- 雨、きりなどが直接入り込むような場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所　・直射日光の当たる場所
- 炎天下の車内　・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所　・振動の強い場所
- 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
- 極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。

⚠注意

ＣＤやカセット挿入口に手を入れない

禁止

けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

禁止

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

ＣＤピックアップをのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

機器の上に乗ったり、上に重い物を置いたりしない

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン、イヤホンの音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きい音量で長時間聞き続けると、聴力障害の原因となります。

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

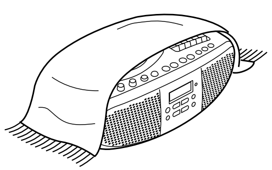
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

- 壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- あお向け・横倒し・逆さまにしない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。



⚠注意

持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引く抜く

プラグを抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

つぎのことを守る

- 指定以外の電池は使用しない
- 極性表示 ⊕ と ⊖ を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
- 長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
- 水にぬらしたり、ぬれた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてのお願い

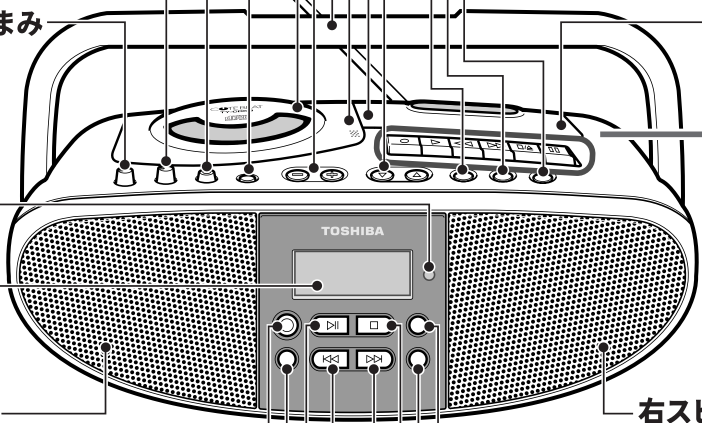
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

各部のなまえ

前面

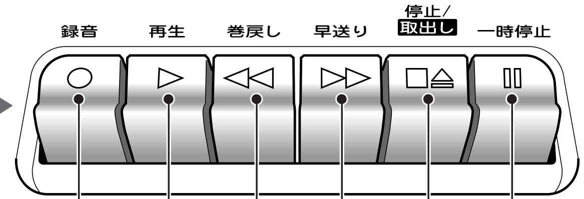
CD・ラジオおよび共通操作部

- ハンドル
- 押す　開/閉
- カセットふた
- 選局（▼▲）ボタン 23 24
- ラジオ入・AM/FM/TVボタン 12 21 23 24 27
- プリセットボタン 24 25
- スリープボタン 27
- 閉める
- 音量（⊖⊕）ボタン 12
- CDふた
- サラウンドボタン 31
- FMアンテナ
- CDボーカルダウンボタン 28
- エコーつまみ 28 29 30
- マイク音量つまみ 28 29
- リモコン受光部
- 表示部



- 左スピーカー（2ウェイ）
- 右スピーカー（2ウェイ）
- CD・ラジオ入/切ボタン 12 20 27
- リピートボタン 16 18
- ランダムボタン 17
- プログラムボタン 12 13
- CD入・再生/一時停止（►II）ボタン 14 15 16 17 18 26
- 停止/クリアー、プリセット終了（■）ボタン 14 16 17 19 25 26
- スキップ/サーチ、プリセット選局－（I◄◄）ボタン 15 18 19 26
- スキップ/サーチ、プリセット選局＋（►►I）ボタン 15 18 26

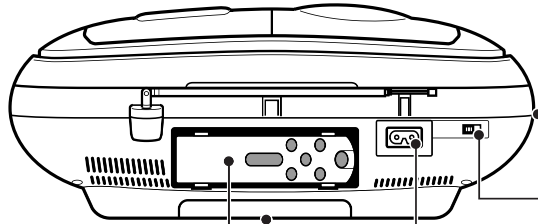
テープ操作部



- 録音（●）ボタン 26 28 29
- 再生（►）ボタン 20 26 28 29 30
- 巻戻し（◄◄）ボタン 20
- 一時停止（II）ボタン 20
- 停止/取出し（■▲）ボタン 10 12 20 26 32
- 早送り（►►）ボタン 20

背面

CD・ラジオおよび共通操作部

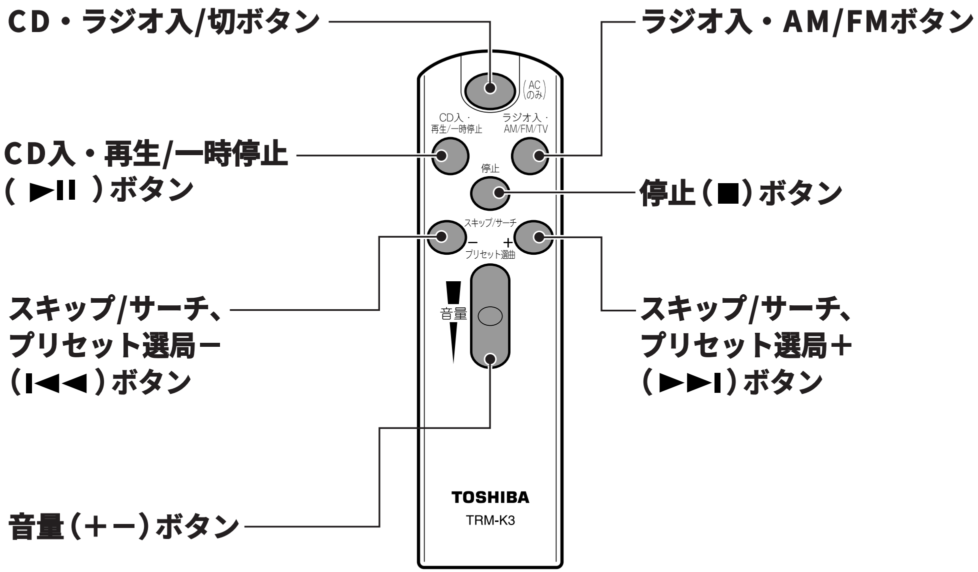


- ヘッドホン端子 12
- マイク端子 28 29 30
- ビートカット（A・B）スイッチ 26
- リモコン収納部
- リモコン
- AC100V端子（AC IN）
- 電池ボックス

（つづく）

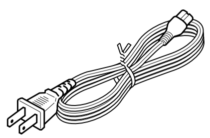
各部のなまえ（つづき）

リモコン

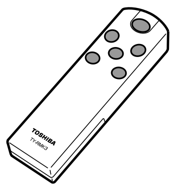


本体を乾電池でお使いのときは、リモコンの［**CD・ラジオ入/切**］ボタンで電源を入れることはできません。本体の［**CD・ラジオ入/切**］**ボタン**で電源を入れてください。

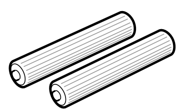
付属品



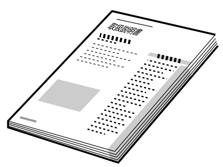
電源コード



リモコン



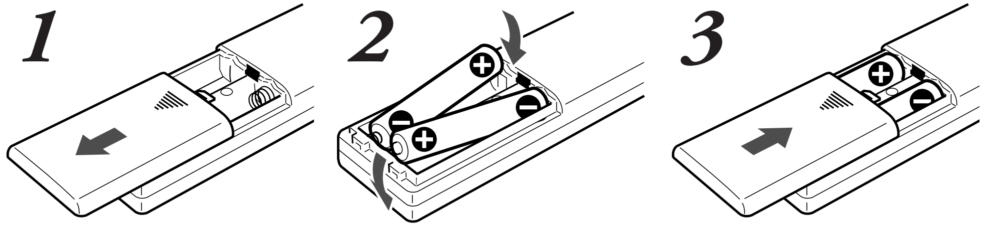
単4乾電池2本



保証書付
取扱説明書

リモコンに乾電池を入れる

電池ぶたを開け、付属の単4形乾電池2本を図のように入れ、ふたを閉めます。



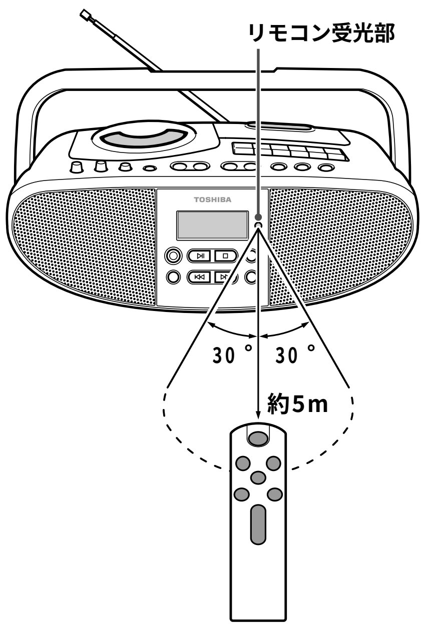
ご注意

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池の極性（⊕と⊖）は正しく入れてください。
- 新しい電池と使いかけの電池を一緒に入れたり、種類の違う電池を混ぜて使ったりしないでください。

リモコンの使いかた

本体のリモコン受光部の正面から約5メートル、左右30度の範囲内でお使いください。

- 各操作ボタンの働きは、本体の操作ボタンに準じます。
- 本体を家庭用電源（AC100V）ではなく、乾電池でお使いのときは、リモコンの［**CD・ラジオ入/切**］**ボタン**で電源を入れることはできません。
  （切ることはできます）



正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが正しく動作しないことがあります。

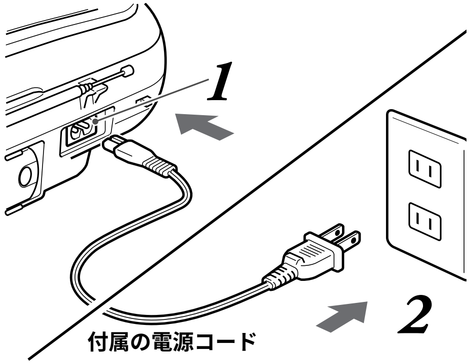
- 本体とリモコンの間に障害物があるとき。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。

電源について

家庭用電源（AC100V）でご使用のとき

1 **電源コードのプラグを背面のAC100V端子へ差し込む**

2 **電源プラグをAC100Vのコンセントへ差し込む**

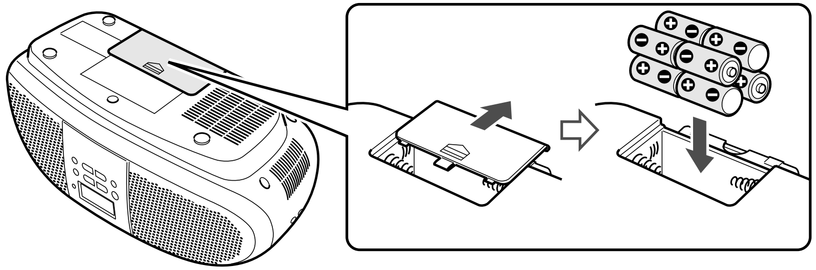


お願い

- ●電源コードを抜き差しするときは、**［CD・ラジオ入/切］**ボタンを押して電源を切った状態にしてください。テープが動作中の場合は、**［停止/取出し（■▲）］ボタン**を押して停止にしてください。
- ●液晶表示が消えていてテープ操作ボタンが通常位置に戻っていたら、電源は切れている状態です。

乾電池（別売り）でご使用のとき

電池ぶたを開け、別売の単2形乾電池8本を図のように入れ、ふたを閉めます。



- ●極性（⊕と⊖）を間違えないように図のように入れます。
- ●電源コードがAC100V端子に接続されていると、乾電池では動作しません。
- ●長期間（1カ月以上）使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

お願い

近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

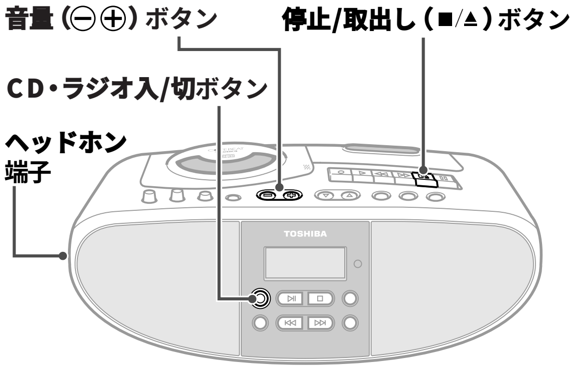
乾電池の交換時期は…

乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CDやテープが正常に動作しない、などの現象を生じます。

ご注意

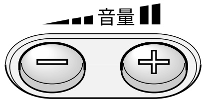
●本機は電源を切った状態でも、わずかですが電流が流れています。電源コードを抜いた状態で乾電池を入れたまま長時間放置すると乾電池の消耗が進みます。また、液もれの原因となることがあります。長時間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

共通操作について



音量調節

[音量（⊖⊕）] ボタンを押す

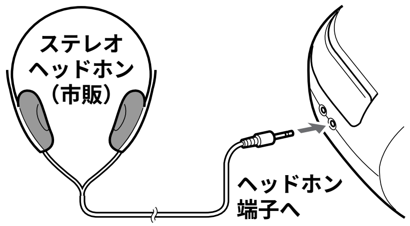


● "00" から "40" まで調節できます。好みの音量に調節してください。

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付のステレオヘッドホン（市販）を側面のヘッドホン端子に接続する

ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



聞き終えるときは（電源を切るときは）

CD、ラジオのとき：

[CD・ラジオ入/切] ボタンを押す



テープのとき：

動作中の場合は [停止/取出し（■▲）] ボタンを押す

再生・録音・早送り・巻戻し中にテープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。



お知らせ

CD、ラジオの録音中に **[CD・ラジオ入/切] ボタン**を押しても、電源は切れません。
CD再生で停止した状態が5分間つづくと、自動的に電源が切れます。

CDを聞く

⚠注意

禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

■CDの種類について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

●コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保証はしかねます。

CD-R/RWディスクについて

●この商品は、CD-DAフォーマット（＊）で記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただしディスクおよび記録に使用したレコーダの状態によっては再生できない場合があります。
未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。

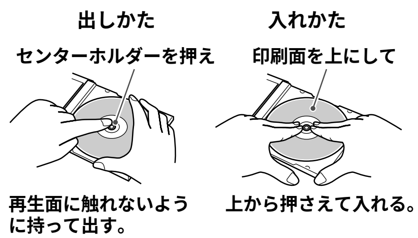
●MP3ファイルを収録したディスクは再生できません。

●VCD（ビデオCD）は再生できません。

（＊）CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

■CDの取り扱いについて

ケースからの出し入れ



取り扱い・保管のしかた

●CDに紙やシールを貼らない。
●CDを曲げない。
●必ず専用ケースに入れて保管する。
●直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かない。

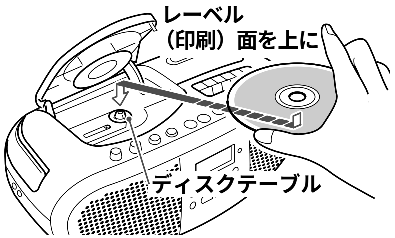
CDのお手入れ

●再生する前に、再生面についたほこり，ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かってふいてください。
●シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

通常再生

1 **［押す（開/閉）］を押してCDふたを開ける**

2 **CDを入れる**



3 **［押す（開/閉）］を押してCDふたを閉める**

- CDふたを押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。自動的に電源が入ります。
- 約5秒後に表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示されます。



4 **［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押す**



- 曲番1から再生が始まります。曲番と再生経過時間を表示します。

5 **［音量（⊖⊕）］ボタンを押して音量を調節する**

6 **止めるときは［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタンを押す**

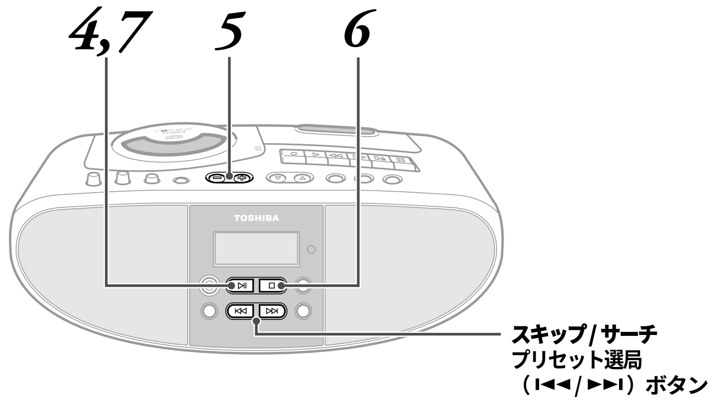
- 総曲数と総再生時間を表示します。
- 最後の曲が終わると自動的に止まります。
- CDを取り出すときは、CDの回転が停止してから、**［押す 開/閉］を押して**CDふたを開けてください。

7 **再びCDを再生するときは［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押す**

- 曲番1から再生を始めます。

お願い

- ディスクテーブルに輸送用の保護シールが取り付けられています。
  はじめてお使いになるときに取りのぞいてください。
- 再生中はCDふたを開けないでください。CDを傷つけることがあります。
- CDふたを開けた状態で、ハンドルを上げたり、持ったりしないでください。



再生の一時停止

再生中に［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押す

- 再生経過時間表示が点滅し、一時停止します。
- もう一度押すと一時停止が解除され、再生に戻ります。

聞きたい曲から再生する

停止中に［スキップ/サーチ（I◄◄ または►►I）］ボタンを短く押して、希望の曲番を選ぶ

- ［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押すと、選んだ曲番から再生が始まります。

曲の頭出し（スキップ）

再生または一時停止中に［スキップ/サーチ（I◄◄ または►►I）］ボタンを短く押す

- ボタンを1回押すごとに、再生中または一時停止中の曲頭に戻したり、次の曲番の頭に進みます。
- 離れた曲番を選ぶと、頭出しに時間がかかる（10秒前後）ことがあります。

早送り/早戻し（サーチ）

再生または一時停止中に［スキップ/サーチ（I◄◄ または►►I）］ボタンを押し続け、希望のところで離す

- 再生経過時間表示や曲番表示が前後に進み、ボタンを離したところから再生したり、そこで一時停止します。

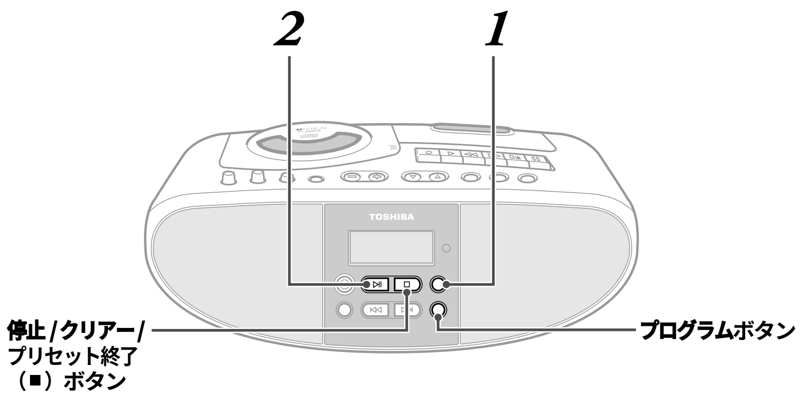
お知らせ

- CDが正しい位置に乗っていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。
- CDの表裏を逆に入れると“ no disc ”と表示され、再生できません。
- CDに傷，指紋やほこりがついていると、再生できないことがあります。

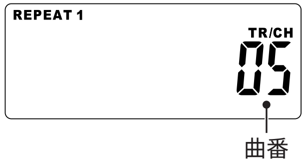
（つづく）

くり返して聞く（リピート再生）

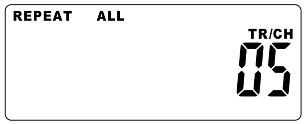
1曲だけ、全曲、プログラムした曲だけをくり返して再生することができます。



1 ［リピート］ボタンを押す



- **1曲だけくり返すとき**
  ［リピート］ボタンを1回押し、“ **REPEAT1** ”を表示させます。
- **全曲くり返すとき**
  ［リピート］ボタンを2回押し、“ **REPEAT ALL** ”を表示させます。



- **プログラムした曲をくり返すとき**
  ［プログラム］ボタンを押し、**［リピート］ボタン**を押して“ **REPEAT ALL PROG** ”を表示させます。
  プログラムした中の1曲だけをくり返すことはできません。

2 ［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押す



設定を取り消す

［リピート］ボタンを1回または2回押し、“ REPEAT1 ”または“ REPEAT ALL ”の表示を消す

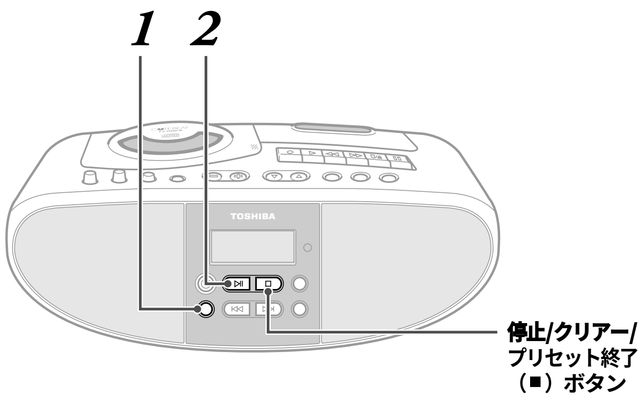
- リピート再生中は **［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタン**を2回、停止しているときは1回押してリピート再生を解除します。

お知らせ

- プログラムした曲だけをリピート再生する場合は、あらかじめ再生したい曲をプログラムしてください（18ページ）。
- リピート再生中に **［リピート］ボタン**を押してリピート再生を取り消すこともできます。

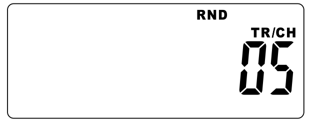
順不同で聞く（ランダム再生）

曲順を不規則（ランダム：RANDOM）に再生することができます。



1 ［ランダム］ボタンを押す

- “ **RND** ”が表示されます。



2 ［CD入・再生/一時停止（►II）］ボタンを押す

- 全曲を順不同に再生した後、停止します。



設定を取り消す

［ランダム］ボタンをもう1回押し、“ RND ”表示を消す

- ランダム再生中は **［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタン**を2回、停止しているときは1回押して解除します。
- **“ PROG ”表示が表示している**プログラム再生中には、**ランダム再生はできません。プログラム設定を取り消してください。**
- ランダム再生中に **［ランダム］ボタン**を押してランダム再生を取り消すこともできます。

使いかた

（つづく）

お好みの曲を選んで聞く（プログラム再生）

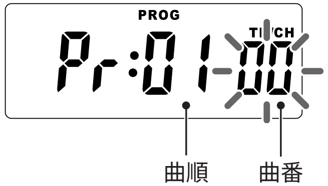
お好みの曲を20曲まで選んで再生することができます。

1 **停止中に［プログラム］ボタンを押す**

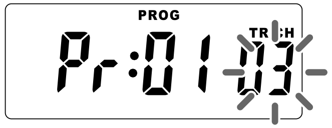
●“PROG”が表示されます。

●曲番表示が“00”で点滅します。

すでに予約されている曲を再生する場合は5へ

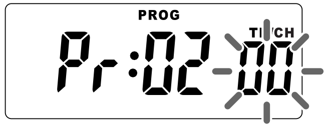


2 **［スキップ/サーチ（I◀◀またはI▶▶I）］ボタンを短く押して、予約したい曲番を表示させる**



3 **［プログラム］ボタンを押す**

●次のプログラム曲順に切り替わり、曲番表示が“00”で点滅します。



4 **お好みのプログラム曲数に応じて手順2〜3をくり返す**

5 **［CD入・再生/一時停止（▶II）］ボタンを押す**

●プログラム再生が始まります。
設定されたプログラムがすべて再生されると停止します。

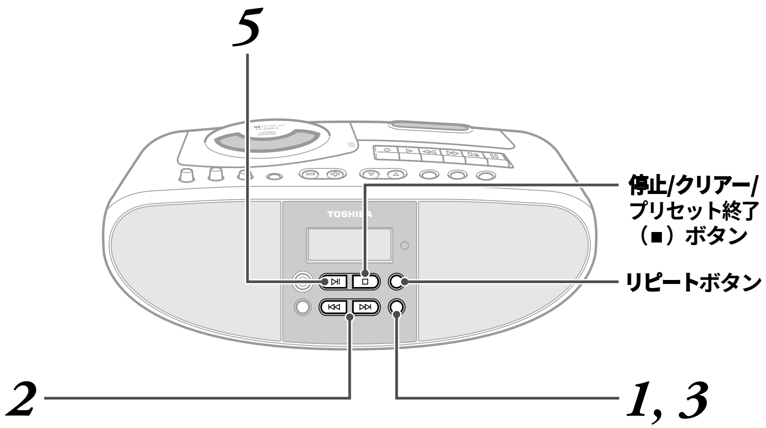
●予約しないで［**CD入・再生/一時停止（▶II）］ボタン**を押すと、停止したままになります。



お知らせ

● プログラム演奏中に［**リピート**］**ボタン**を押すと、プログラムした曲を繰り返して再生します。

● 20曲目を設定すると、次は1曲目の設定に戻ります。



プログラムを確認する

停止中に［プログラム］ボタンを押す

● 押すたびにプログラムした順で曲番が表示されます。

プログラム再生を止める

停止中に［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタンを押す

● 通常再生に戻りますが、プログラムの設定は記憶されて残ります。

プログラムを変更する

停止中に［プログラム］ボタンをくり返し押し、変更したい曲番を表示（点滅）させて、左ページの手順2〜3と同様に曲を変更する

● プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

プログラム設定を取り消す

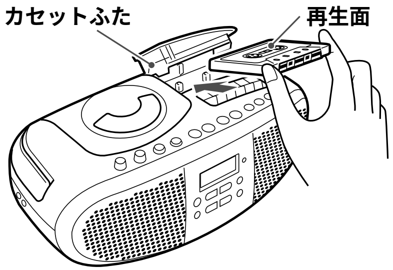
停止中に［プログラム］ボタンを押し、曲番表示を点滅させる
次に［スキップ/サーチ（I◀◀）］ボタンを押して、曲番表示を“00”まで戻す
もう一度［プログラム］ボタンを押してから、［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタンを押す

● CDを差し替えたときも前のプログラムは取り消されます。

テープを聞く

1 **［停止/取出し（■▲）］ボタンを押して、カセットふたを開けテープを入れる**

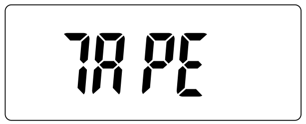
●聞きたい面を上にして、テープが見える方を手前にして入れます。



2 **［閉める］を押してカセットふたを閉める**

3 **［再生（►）］ボタンを押す**

電源が入り再生が始まります。



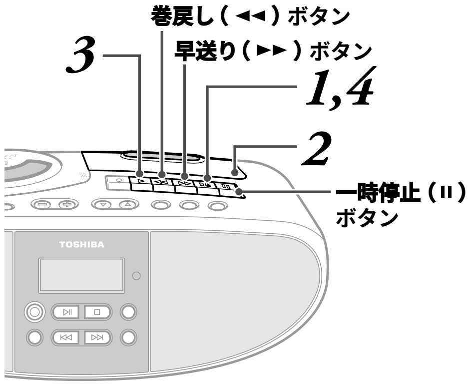
4 **再生を止めるときは、［停止/取出し（■▲）］ボタンを押す**

もう一度押すとカセットふたが開きます。

お知らせ

●CD再生中、またはラジオの受信中にテープの［**再生（►）］ボタン**を押すと、CD、ラジオの受信が停止し、テープが再生されます。

●テープ再生中、録音中、早送り中、巻戻し中に［**CD・ラジオ入/切］ボタン**を押しても、テープは停止しません。テープを停止するには［**停止/取出し（■▲）］ボタン**を押します。



一時停止

再生中に［一時停止（II）］ボタンを押す

もう一度押すと再び再生が始まります。

早送り、巻戻し

停止時に［早送り（►►）または巻戻し（◄◄）］ボタンを押す

早送り・巻き戻しを止めるときは、**［停止/取出し（■▲）］ボタン**を押します。

お願い

●再生・録音、早送り・巻戻し中にテープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。

●再生・録音中に［**早送り（►►）または巻戻し（◄◄）］ボタン**を同時に押さないでください。テープ巻き付きの原因になります。

●ボタンはゆっくり、しっかり、確実に操作してください。重なって押したり、乱暴に切り換え押しすると、テープ巻き付きの原因になります。

●カセットふたを開けた状態で、ハンドルを上げたり、持ったりしないでください。

カセットテープについて

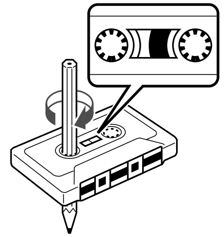
ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。

●ハイポジションテープ（TYPE2）やメタルテープ（TYPE4）は再生できますがその特性を活かすことはできません。正しく録音・消去することもできません。

●エンドレステープは使用できません。

●100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープ巻きつきなどの原因になります。



次のような場所には保管しないでください。

●ほこりの多いところ。

●磁気の発生するところ。

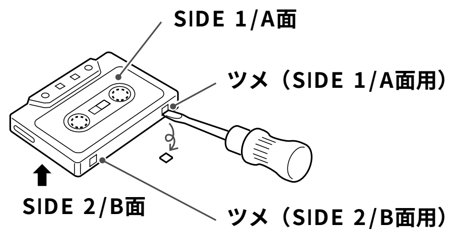
●高温や湿気の多いところ。

大切な録音を消さないために

録音済みテープを入れた状態で、**［録音（●）］ボタン**を押さないでください。録音した内容が消去されます。

●カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

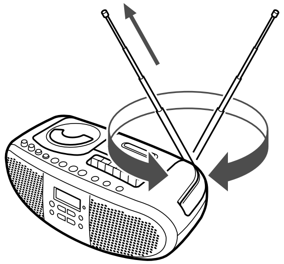
●誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。



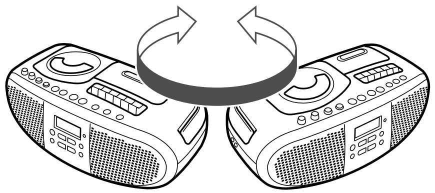
ラジオを聞く

よりよい受信をするために

FM放送，TV音声
ロッドアンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向にアンテナを向けてください。



AM放送
最も良く聞こえる方向に本体を向けてください。



FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると“ **ST** ”を表示します。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り替わり、“ **ST** ”表示は消えます。
- AMステレオ放送には対応していません。

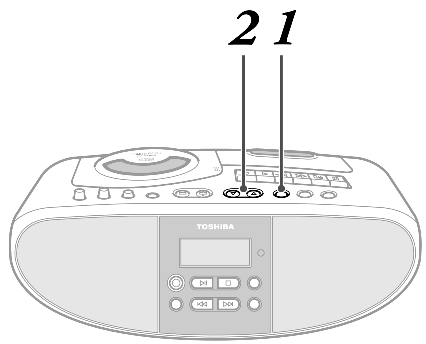
テレビの音声について

- ステレオ、音声多重には対応していません。
- この商品のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはテレビの2チャンネルまたは3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

お願い

- 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、この商品のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、この商品をテレビから離してご使用ください。
- ロッドアンテナの向きを調節するときは、アンテナを根元までしっかり伸ばしてください。

通常受信



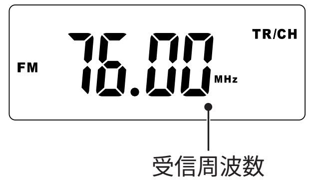
1 ［ラジオ入・AM/FM/TV］ボタンを押し、受信するバンドを選ぶ

- 自動的に電源が入り、AM，FMまたはTV音声の受信状態になります。
- ボタンを押すごとに受信バンドが切り替わります。



2 ［選局（▼▲）］ボタンを押して放送局を選ぶ

- 受信周波数を表示する数字が動き始めるまで押し続けてから離すと、最初に受信した放送局の周波数で自動的に停止します。
放送局間の受信ノイズ（雑音）で停止したときは、再び押し続けてください。
- **［プリセット選局（ー＋）］ボタン**を押すと、あらかじめ記憶させた放送局を受信します（24ページ参照）。



使いかた

（つづく）

放送局を記憶させる（オートプリセット）

受信状態の良い放送局を自動で記憶させると、次からは記憶させたプリセット番号で簡単に選局できます。
プリセットできる局数はAM 10局、FM 15局、TV 5局まで設定できます。

1 ［ラジオ入・AM/FM/TV］ボタンを押し、受信する受信バンドを選ぶ

- 電源が入り、AM、FMまたはTV音声が受信されます。
- ボタンを押すごとに受信バンドが切り替わります。

2 ［プリセット］ボタンを約3秒間長押しして、“ AUTO ”を表示させる

- 「プリセット番号」の1番から順に、受信周波数の高い放送局へ、受信状態の良い放送局へと自動的にサーチし、自動的に記憶します。

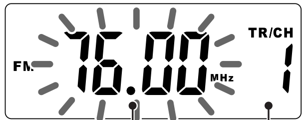
電波が弱く放送局を自動で記憶できないときや、好きな放送局を選んで記憶させたいとき（マニュアルプリセット）

1 ［ラジオ入・AM/FM/TV］ボタンを押し、受信するバンドを選ぶ

- 電源が入り、AM、FMまたはTV音声が受信されます。
- ボタンを押すごとに受信バンドが切り替わります。

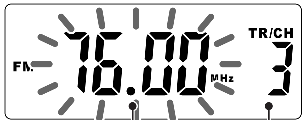
2 ［プリセット］ボタンを押す

- 「プリセット番号」が表示され、受信している放送局の周波数が点滅します。



受信周波数 プリセット番号

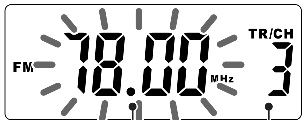
3 ［プリセット選局（－＋）］ボタンを押して、設定するプリセット番号を選ぶ



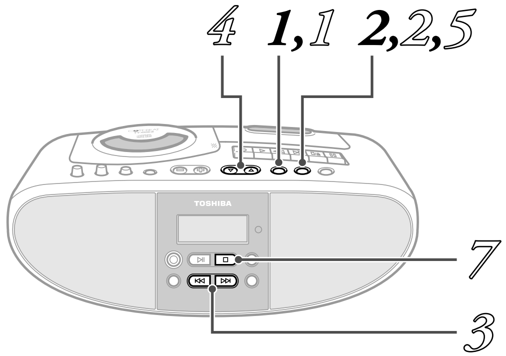
受信周波数 プリセット番号

4 ［選局 ▼▲］ボタンを押して希望の放送局を受信する

- 受信周波数を表示する数字が動き始めるまで押し続けてから指を離すと、最初に受信にした放送局の周波数で自動的に停止します。
  放送局間の受信ノイズ（雑音）で停止したときは、もう一度押し続けてください。



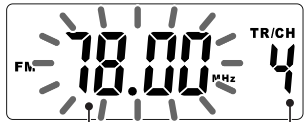
受信周波数 プリセット番号



受信周波数

5 ［プリセット］ボタンを押す

- 「プリセット番号」が表示され、受信している放送局の周波数が点滅します。



受信周波数 プリセット番号

6 手順3～5をくり返し、続けて他の放送局を記憶させる

7 ［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタンを押して、記憶操作を終える

お知らせ

- 既に設定済みのプリセット番号に別の放送局を記憶させると、前の記憶は消え、新しい放送局が記憶されます。
- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが国の法律として予定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

録音する

1 ［停止/取出し（■▲）］ボタンを押して、カセットふたを開けテープを入れる

●録音する面を上に、テープが見える方を手前にして、カセットふたのホルダーに差し入れます。

2 ［閉める］を押してカセットふたを閉める

●録音を始める位置でテープを停止させておきます。

3 CDを録音する：録音するCDを入れ、［録音（●）］ボタンを押す

［再生（►）］ボタンも同時にさがり、“REC”が表示され、CDの再生と同時に録音が始まります。

●希望の曲から録音するときは、**［スキップ/サーチ（I◄◄ または ►►I）］ボタン**で希望の曲番を選んでおきます。

●希望の曲だけを選んで録音するときは、**［プログラム］ボタン**を押して“PROG”を表示させておきます。（18ページ）

●CDの再生中に**［録音（●）］ボタン**を押すと、曲の最初から録音が始まります。

●CDの一時停止中に**［録音（●）］ボタン**を押すと、そこから録音を始めることができます。

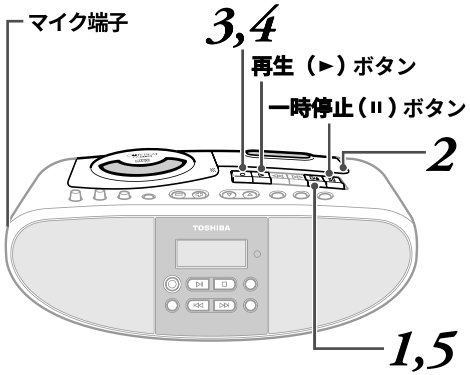
4 ラジオを録音する：録音したい放送局の番組を受信して、［録音（●）］ボタンを押す

［再生（►）］ボタンも同時にさがり、“REC”が表示されて録音が始まります。

5 録音を止めるときは［停止/取出し（■▲）］ボタンを押す

●CD録音中に**［停止/取出し（■▲）］ボタン**を押すと、CDは一時停止します。

●ラジオを録音中に**［停止/取出し（■▲）］ボタン**を押しても、ラジオを受信し続けます。



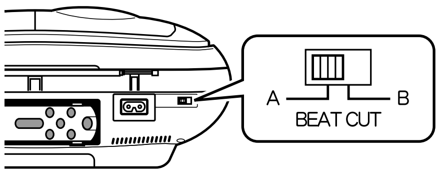
録音の一時停止

録音中に［一時停止］ボタンを押す

もう一度押すと再び録音が始まります。

録音中にビート音が出るときは

ラジオを録音中、ビート音（「ピー」という音）がでることがあります。
その場合には背面の**［ビートカット］スイッチ**をビート音が弱い方の位置（AまたはB）に切り換えてください。



お知らせ

●録音レベルは自動的に設定されます。

●CDを録音中に**［停止/取出し（■▲）］ボタン**を押すと、CDは一時停止します。CDを止めるには**［停止/クリアー/プリセット終了（■）］ボタン**を押します。

音楽を聞きながら眠る

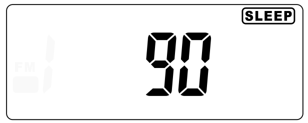
1 聞きたい放送局またはCDを流す

■CDを聞く：
聞きたいCDを入れ、希望の曲を再生する

■AM放送やFM放送、テレビの音声を聞く：
希望の放送を受信する

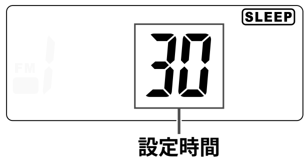
2 ［スリープ］ボタンを押す

“SLEEP”が表示されます。



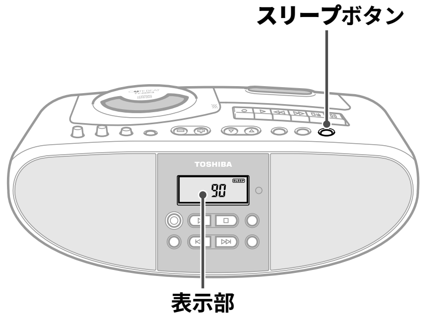
3 ［スリープ］ボタンを押して、時間を選ぶ

時間が表示されている間に**［スリープ］ボタン**を押して、時間を設定してください。
［スリープ］ボタンを押すごとに“90”→“80”→…“10”→“OFF”→“90”と10分単位で変わります。



4 スリープ設定時間の確認と変更のしかた

スリープ機能動作中に**［スリープ］ボタン**を押すと残り時間が表示されます。
この状態でもう一度**［スリープ］ボタン**を押すと表示が“90”に戻ります。
再度設定する場合は**［スリープ］ボタン**を押してください。



スリープ機能を中止するには

［スリープ］ボタンを押して“OFF”を表示させます。

●**［CD・ラジオ入/切］**ボタンを押して、電源を切っても中止できます。

テープを聞きながら眠るには

聞きたいテープを再生します。

●片面の再生が終わると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。

ご注意

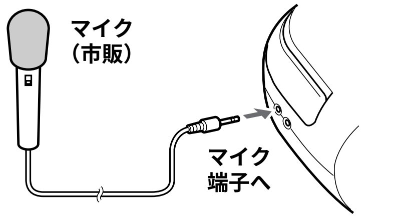
●テープ再生中は**［スリープ］**ボタンを押しても時間を設定できません。

マイク（別売り）を使う

カラオケを楽しむ

市販のマイクを本体に接続して、カラオケを楽しむことができます。

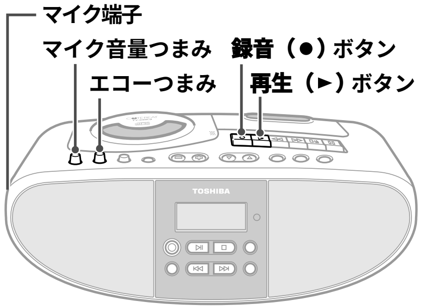
1 **マイクを側面のマイク端子に接続する**



2 **CDを再生する**
またはテープを再生する

3 **カラオケを始める**

- ［**マイク音量**］**つまみ**で、マイクの音量を調節できます。
- ［**エコー**］**つまみ**で、エコーを調節できます。



カラオケを録音する

1 **マイクを側面のマイク端子に接続する**

2 **カセットふたを開け、テープを入れる**

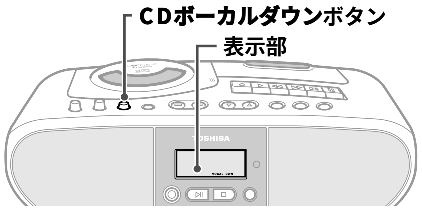
3 **CDを入れ、希望する曲番を選ぶ**

4 **［録音（●）］ボタンを押して、カラオケをはじめる**

［**再生（►）**］**ボタン**も同時に押し込まれ、録音が始まります。

ボーカルダウンについて

音声多重でないCDを再生中に上面の［**CDボーカルダウン**］**ボタン**を押すと、歌手の声が小さくなり、カラオケに近い状態で楽しめます。

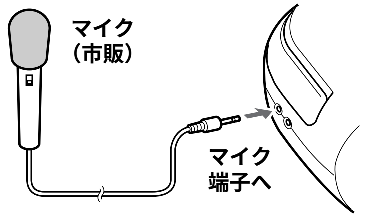


ご注意

- 歌手の声域によっては、歌手の声が十分に小さくならない場合があります。
- 音声多重CDを再生すると、伴奏部が歪み、歌手の声が大きくなることがありますが、異常ではありません。
- ボーカルダウンを楽しむときは、［**サラウンド**］**ボタン**を押さないでください。併用すると、それぞれの効果が得られません。
- テープ再生中、ラジオ受信中はボーカルダウンは効きません。

マイクから録音する

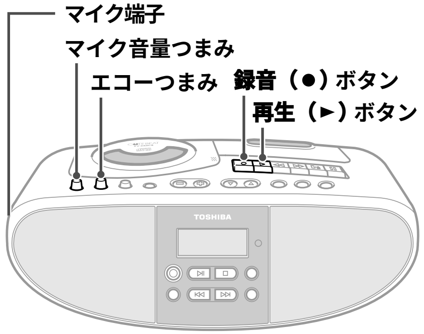
1 **マイクを側面のマイク端子に接続する**



2 **カセットふたを開け、テープを入れる**

3 **［録音（●）］ボタンを押す**

［**再生（►）**］**ボタン**も同時に押し込まれ、録音が始まります。



使いかた

お知らせ

- マイクの音声は、CDの再生中や一時停止中、テープの再生中や一時停止中に拡声されます。停止中はマイクの音声は出ません。
- ラジオ受信中は、カラオケができません。
- ラジオ受信中は、マイクの音声は録音されません。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- マイクによっては感度が低いなどの理由で、十分に音声が出ない場合があります。
- マイクから録音中に、マイク音量やエコーを変えると、テープの再生時に音が割れることがあります。
- マイクによっては感度が低いなどの理由で、音声が録音されない場合があります。
- 録音レベルは自動的に設定されます。
  録音中に音量や音質を変えても、録音されるテープには影響されません。

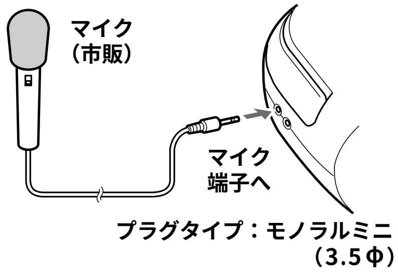
（つづく）

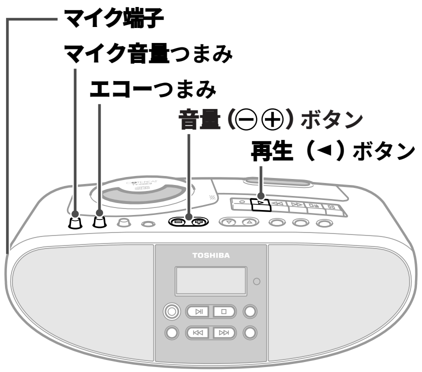
本機を拡声器として使う

1 **マイクを側面のマイク端子に接続する**

2 **カセットふたにテープの入っていない状態で、［再生（►）］ボタンを押す**

- ［**音量（⊖⊕）］ボタン**とマイク音量つまみで、音量を調節します。
- ［**エコー］つまみ**で、エコーをかけることができます。





お知らせ

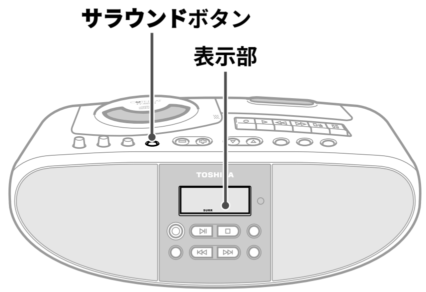
- テープの一時停止中や、CDの一時停止中でも、拡声器として使えます。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

サラウンド機能を使う

音場が拡がり、ライブ感を楽しめます。

1 **［サラウンド］ボタンを押す**

- 表示部に“ SURR ”と表示されます。もう一度 **［サラウンド］ボタン**を押すと元に戻ります。



ご注意

- サラウンドとボーカルダウンを併用すると、本来の効果が得られません。
サラウンドを楽しむときは、ボーカルダウンは使わないでください。

お手入れのしかた

テープヘッド部

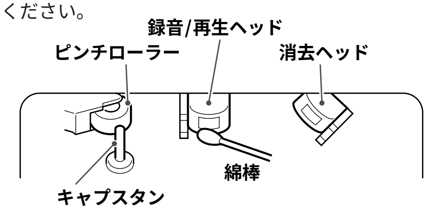
テープを再生または録音すると、次のような症状が出る場合があります。

●音が悪い
●きれいに録音できない
●前の音が残っている
●テープが巻きつく

ほとんどの場合、ヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）をお買い求めのうえ、ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早目（約10時間程度使用ごと）におこなってください。

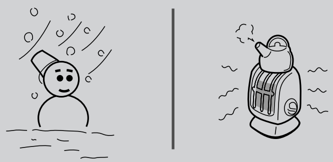
[停止/取出し（■▲）] ボタンを押してカセットふたを開け、市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽くふいてください。カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

● 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。
このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。



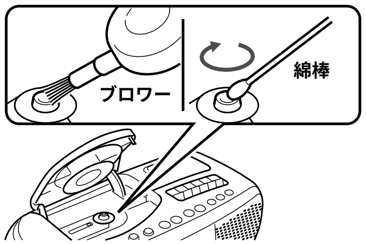
露つき（結露）について

周囲の温度が急激に変化した場合、内部のレンズに露（水滴）が発生することがあります。
この状態では正常にCDを再生できないことがあります。
このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。



ピックアップ（レンズ）

CD装着部のレンズが汚れると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。
ほこりなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、先のブラシでほこりを掃き出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。



本体のお手入れ

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

●ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

故障かな？と思ったとき

症　状	原　因	処置方法
音がでない	●電源プラグがはずれている ●乾電池が消耗している ●音量レベルが下がっている ●ヘッドホンが差し込まれている	●プラグを確実に差し込む ●乾電池を交換する ●音量レベルを調節する ●ヘッドホンをはずす
CDプレーヤー部		
再生がはじまらない	●CDが裏返しになっている ●CDが汚れている	●レーベル面を上にして入れる ●清掃する
音がとぶ	●CDに大きな傷やそりがある ●振動する場所に設置している	●CDをとりかえる ●振動のない場所に設置する
歌手の声が小さく聞こえる	●**[ボーカルダウン] ボタン**が「入」になっている	●「切」に切り換える
テープレコーダー部		
カセットが入らない **カセットふたが閉まらない**	●カセットの向きが前後逆さまになっている ●カセットが差し入れ溝から外れている	●テープの見えている方を手前にして入れる ●差し入れ溝に沿って入れる
テープが走行しない	●カセットテープの不良	●カセットテープをとりかえる
録音ボタンが押せない	●ツメの折れたカセットを装着している	●カセットテープをとりかえる
音がとぎれる、音程が狂う **消去が不完全**	●ヘッド部が汚れている ●ハイポジションテープやメタルテープを使っている	●清掃する ●ノーマルテープを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	●電源プラグの刃向きを差し換える ●本機を雑音源から離す ●テレビを消す ●アンテナを調節する

お願い

●CDの再生中に、表示や動作が異常になった場合は、**[CD・ラジオ入/切] ボタン**を押して電源を切り、再度操作しなおしてください。
●長時間使用していますと、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

CDプレーヤー部

チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz

テープレコーダー部

トラック方式	4トラック、2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約2分（60分テープ）
周波数範囲	75～12,000Hz

ラジオ部

受信周波数（*）	AM：522～1,638kHz FM：76～90MHz TV音声：1～12ch

共通部

実用最大出力（*）	2.5W＋2.5W
スピーカー（*）	8.9cm（4Ω） コーン型×2 2.5cm（300Ω） 圧電型×2
入力端子	マイク端子（3.5φモノラルミニジャック）
出力端子	ヘッドホン端子（3.5φステレオミニジャック）
電池持続時間（*）	〈東芝アルカリ乾電池 単2×8本使用時〉 ＦＭ録音時：約30時間 テープ再生時：約20時間 ＣＤ再生時：約12時間
電源（*）	AC 100V、50/60Hz DC 12V（単2形乾電池）×8本
消費電力（*）	15W
最大外形寸法（*）	400（幅）×156（高さ）×230（奥行）mm （ボタン、つまみ等の突起物含む。ハンドル含まず。）
質量（*）	約3.5kg（乾電池含まず。）
付属品	電源コード（コード長：約1.8m）、リモコン、 リモコン用単4形乾電池2本、保証書付取扱説明書

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（*）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

電話で 24時間 365日 お応えします

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

33ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。		ご使用中止	
	● 電源コードが傷んでいる ● 煙が出る ● 変な臭いがする ● その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。